

プランクトン検鏡結果のお知らせ

本日、浦ノ内湾のプランクトン調査を行いましたので、結果をお知らせします。

検鏡の結果、魚類に対して有害なカレニア・ミキモトイが最高で2,700cells/ml、シャットネラ属が最高で110cells/ml、シュードシャットネラ・ベルクローサが最高で2cells/ml、ケラチウム属(C.フルカ+C.フスス)が最高で70cells/ml確認されました。

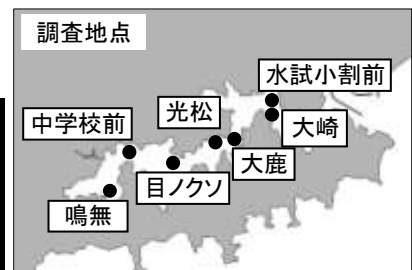
カレニア・ミキモトイは、鳴無の表層と2m層、中学校前、光松、大鹿の各2m層で被害が想定される細胞密度になっています。また、シャットネラ属は鳴無の表層から5m層、中学校前の2m層、中学校前(北)の表層で被害が想定される細胞密度になっています。

慎重な養殖管理をお願いします。

海や養殖魚の状態に不安や変化を感じた時は、良く洗ったペットボトルに海水を汲むなどして、水産試験場か中央漁業指導所まで連絡してください。

プランクトン(cells/ml)

		カレニア・ミキモトイ	シャットネラ属	シュードシャットネラ・ベルクローサ	ケラチウム属(C.フルカ、C.フスス)	珪藻類
中学校前	0m	6	0	1	2	17,200
	2m	2,200	30	0	18	10,600
	5m	44	3	0	3	2,000
目ノクソ	0m	12	0	1	0	23,700
	2m	160	2	0	14	12,200
	5m	16	0	0	5	2,300
光松	0m	4	0	1	0	10,400
	2m	500	1	0	2	4,900
	5m	14	0	1	4	700
大鹿	0m	40	0	0	0	8,600
	2m	320	0	0	3	9,900
	5m	21	0	2	6	900
水試小割前	0m	5	0	2	0	1,400
	2m	32	0	1	4	2,100
	5m	9	0	1	0	900
鳴無	0m	390	10	0	0	0
	2m	2,700	110	0	70	0
	5m	150	10	0	0	0
中学校前(北)	0m	43	26	0	0	0
大崎	0m	5	0	1	0	0
	2m	23	1	2	1	1
	5m	9	0	0	1	1



漁業被害が想定される細胞密度

- ・カレニア・ミキモトイ：
数百～数千cells/ml(魚類等のへい死)
- ・シャットネラ属：
10～100cells/ml(魚類のへい死)
- ・シュードシャットネラ・ベルクローサ：
500～1,000cells/ml(魚類等のへい死)
- ・ケラチウム属：100cells/ml(餌食いの悪化)